## 東日本大震災被災地応援実行委員会たより

## 轍わだち

2019. 2. 12 NO. 108

## 西日本集中豪雨から7ヶ月経って

本校を卒業した生徒の親戚のなかに、岡山県倉敷市にある真備町岡田地区で被災された方がいるとお聞きしたので状況を聞きとりました。

みなさんは7ヶ月前に西日本を襲った集中豪雨をおぼえていますか。河川の氾濫や 洪水、土砂災害などの被害が発生し、死者は224人にも上りました。 特に被害が 大きかった岡山県倉敷市真備(まび)町では、小田川とその支流で計8ヶ所の堤防が 決壊して、濁流が町を襲いました。約4600戸が浸水、51人が亡くなりました。

小田川のまわりには住宅地が広がっていて、普段は流れが緩やかな川だったそうです。 川の近隣に住む人たちは近所の人と声をかけ合って救助を待ちました。





報道も減り、7ヶ月も経ってもう落ち着いたのだと感じる方が多いと思いますが、復興には時間がかかっており人気のない空き家が目立つのが町の現状です。 27,000 ---- ---

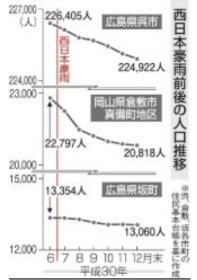
真備町では被災前と比べ 2000 人近く人口が流出。

生活を再建するのにおいて商業施設が少しずつ

<u>失われることは大変なことがわかる</u> →

↑水没によって再建ができないまま閉店することで、不安が残る。

そこで今回、東日本大震災被災地応援実行委員会では被災地のみなさんに本校から物資を送る支援をさせていただくことになりました。それにあたって、真備町にお住まいで婦人会の活動に携わっている松尾さんに必要としているものを 12,000 直接電話でたずわました。(聞き取り:高校1年 秋田さんと小川さん)



お米、日持ちする食べ物、カイロ、洗剤、スリッパ、はさみ(文房具)など

私たちがいき当たり前に使っているような生活必需品が今でも足りていないことがわかりました。 2月12日(火)~16日(土)までの5日間、全校生徒のみなさんからの寄付を募集します。被災地の皆さんが少しでも快適な生活をおくれるようにご協力をお願いします。 2011年4月、生徒

以上を磨折南住宅に届

靴下合わせて50点

高校の生徒たち。

のは平安女学院中学

ノレゼントを贈った

がある障害者福祉施設

と連携してクッショ

ることが、入居者の支 を寄せ続けてくれてい 生徒たちが変わらず心 災からもうすぐ8年、 の生徒から、 都市内の中・高一貫校 日本大震災被災地の支 ンなどが贈られた。震 接活動を続けている京 クッショ

えや励みになってい 宅の入居者に打日、東 気仙沼市営鹿折南住 が進んだ今回は、交流 贈ったが、退居や撤去 折中仮設住宅などに 空ち上げて以来、 を企画。これまでは開 11日の会議で支援方法 地応援実行委員会」を クリスマスプレゼント どを展開している。 る年ほど前からは、



**羟三** 陸新報社 〒938-0141 気仙岩市松崎街景228-100 電話 0226 (22) 6700% FAX 0226 (23) 6100

URL http://www.sanri kushimpo,co.jp/ e-mail news@sanrikush

impo.co.jp 〇.三陸新設社.2019年

東日本大震災被災地実

聞にて報道されました

行委員会」の

活動が新

京都・クッションなど贈る 南 大居者の支えや励みに 南 を検討しているほか、 夢会活動、物質支援な 東日本大震災被災

ンなどが贈られた

心がこもったクリスス

ブレゼント。励ま

心が温まる思い

(83) は「年は明けた だった小野寺良男さん

子供たちの優し

京都の中・高校生からクッショ ちの活動を支援してい り。人の心に寄り添う んでいただけで何よ 長は「プレゼントを ことが本校の教育方 同校の今井千和世界 これからも生徒だ A ....

折中住宅の自治会長 クルのメンバーが受け 者でつくる趣味のサー

報 れました。 りしたクッション等が到 着したとの記 の入居者の皆さんにお送 大震災被災地実行委員会」 気仙沼市営鹿折南住宅 にて、 月 十二日付「三陸新 当校の 事 が掲載さ 「東日本

歩みを見せてくれていま ら下級生へと引き継がれ、 った八年前より上級生か 三年前からはクリスマス ブレゼントとして新たな この交流は、 震災が起こ

記事になりました。 いうメッセージも頂きま 受け下さった方から(記事 んなの活動が注目されて ントを受け取って配布 今井校長先生からも「み 送られてきました。」と ゼ を